

昭和十七年三月二十五日 印刷 納本
昭和十七年四月一日 (毎月一回) 日發行

禁轉載

道路の改良

第二十四卷
第四號

社団法人
道路改良會

鋪裝報國

日本鋪道株式會社

社長 淺利三朗

東京・大阪・福岡・札幌・京都・臺北・新京・橫濱・名古屋・京都

東京・丸の内



鋪

飛行場舗装 道路舗装

加熱式アスファルト
アスファルト乳劑
セメントコンクリート

アスファルト乳劑製造



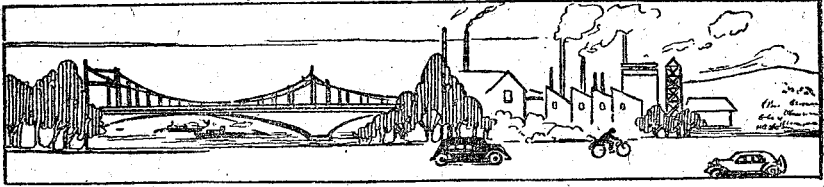
東京瀝材工業株式會社

本社 東京市日本橋區吳服橋一丁目三番地
(三和ビル)

電話(日本橋) 二六六六番
五五一一番

東京工場 東京市江戸川區長島町五七〇五番地
電話(葛西) 〇〇四〇番

鶴見工場 横濱市鶴見區市場町七七四番地



道路の改良 第二十四卷 第四號 目次 昭和十七年四月一日發行

【口 繪】 島根縣益田土木管區事務所に於ける修路工夫表彰式

卷頭言

論 說

南洋開發と交通問題……………經濟學博士 檜崎敏雄(三)

研 究

共榮圈内の經濟開發と交通(下)……………H T 生(二〇)

說 苑

歴代内務土木局長と其の時代 Ⅱ 安藤狂四郎氏……………清水 生(三)

道路工夫の激勵……………北海道廳 有岡富次(四)

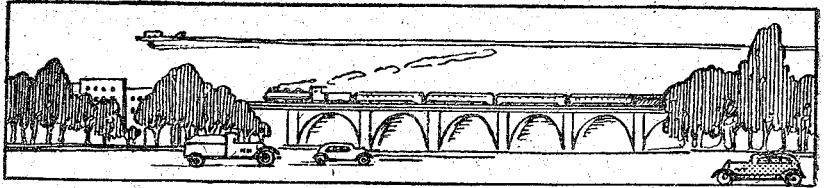
道路愛護功績者表彰式の舉行……………宮城縣土木部道路課(兒)

曉鐘の鳴る村久志村道路愛護會……………沖繩縣 釜野井生(五)

修路工夫と渡船夫の表彰……………島根縣 柳樂義雄(六)

鳥取縣と土木行政(三)……………鳥取縣 前田 豊(六)

佛印への道路「道と兵隊」續篇(一)……………和歌山縣土木課 根井有信(七)



土木出張所長事務打合會議……………一 記者(合)
 時 局 日 誌(五十四)……………Y H 生(合)

内務省特報

◎内務省告示◎大政翼賛會に於ける湯澤内務大臣の要請◎地方長官會議に於ける東條首相の訓示◎地方長官會議に於ける湯澤内務大臣の訓示の要綱◎帝國議會に於ける東條内閣總理大臣の演說◎技術院事務分掌規程改正◎南方諸國面積人口一覽表◎警察部長事務打合會◎郵便新料金◎電信電話新料金……………(三四)

地方通信

北海道に舉る道路愛護運動……………其他……………(三五)

法令

最近内務省に於ける路政關係行政處分例……………S O 生(三毛)

雜報

◎道路功績者の表彰◎土木出張所長事務打合會◎第二次戰勝祝賀式◎滿洲國特派大使◎樺太廳燒失◎堀内文次郎中將◎評議員岡崎久次郎氏◎谷口協調會理事◎内務省土木試驗所談話會◎近刊圖書雜誌……………(四〇)

叙 任 辭 令……………(四一)

編輯室の内外……………(四四)

書修獨の者務實木土

座講木土用實

初級と
上級

度程等中

春期新學期開始 新會員大募集

一億一心。實力養成。技術は即ち力である。

世は技術時代。土木は國本的技術として高度國防の基本的一環を成し、特に航空土木及防空土木は刻下國民須知の新技術である。

大東亞建設の基調は土木日本の振作に孕在す。行け！ 土木家は新天地に!!! 國力伸長のため將た共榮圈興隆のため。

土木を以て立身奉公せんと欲する人のために、島國日本より大東亞へ進出報國を期する人のために、本講座を捧げる。

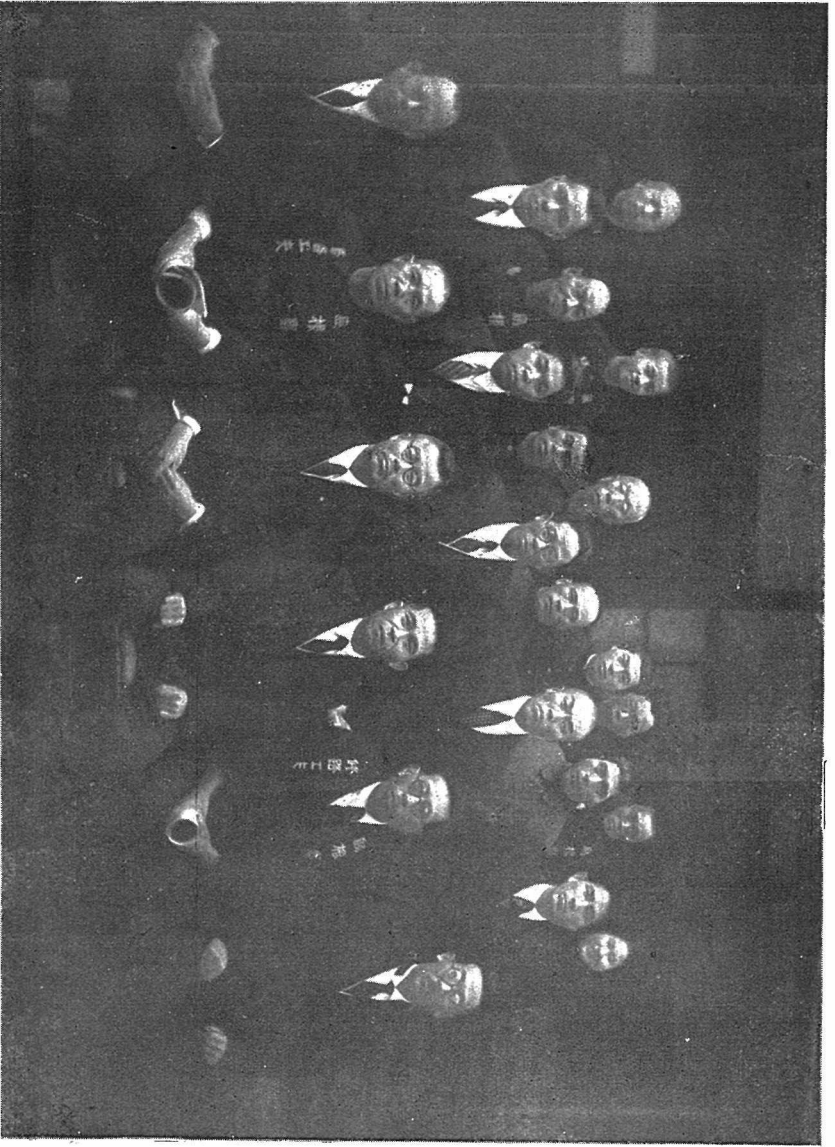
- ▼兩講座共初代内務省土木試驗所長、元東京市土木局長牧彦七博士の總管下に、内務・鐵道・農林・遞信四省、東大・日大・企畫院・滿洲國政府・東京市役所・北京特別市公署・其他の關係諸先生の執筆に成る時需の最良書である。
- ▼初級講座には土木製圖・測量學・應用力學・土木材料・施工法・鐵筋コンクリート・河川工學・砂防工學・港灣・道路・橋梁・鐵道工學・發電水力・都市計畫・上水道・下水道の外に科外講話あり。一年三ヶ月修了。毎月一册配本。會費金壹圓五拾錢前納。全卷即時配本可能。
- ▼上級講座には簡易鋪裝・セメント系鋪裝・コンクリート橋梁及溝橋・隧道工・河港及運河・基礎工・擁壁工・農業土木・航空土木・防空土木・高速鐵道・軌道及特殊鐵道・土木地質學・土木工事監督・續土木工事監督・土不行政法綱要・應用電氣工學等あり。一年一ヶ月修了。毎月一册配本。會費金壹圓七拾錢(但第十三號に限り金貳圓)前納。全卷即時配本可能。
- ▼送料(暫定)每卷内地十四錢 臺・樺・鮮・南洋・滿・支各二十錢各自負擔。
- ▼申込期限は來る六月十五日。

内容見本無代進呈

東京市世田谷區上馬町一ノ六五九番地

日本土木工學會

振替東京二〇八三四番



鳥根縣益田土木管區事務所に於ける修路工夫表形式

昭和十七年

道路の改良

四月一日

第二十四卷
第四號

